

令和4年度「多様な世代が集う交流拠点としての スタジアム・アリーナ」選定案件一覧

施設名称	カテゴリ	評価ポイント
太田市総合体育館	アリーナ	・人口約22万人規模の太田市で計画された、収容人数5,000人の「観るスポーツ」を意識したコンパクトなアリーナで、地方都市におけるアリーナのモデルケースとなりうる施設 ・企業版ふるさと納税活用により、施設整備費約80億円の半額以上をホームチームのオーナー企業（（株）オープンハウス）が負担するという新たな資金調達スキーム ・大型映像装置や音響設備、照明器具等、最新の設備により、新たな観戦・鑑賞の価値を提供
TOKYO A-ARENA （仮称）	アリーナ	・トヨタグループにより推進される民設民営アリーナ ・グループの特色を活かし、次世代モビリティとの連携によるサービス提供等、様々なアイデアを構想 ・ホームチーム運営企業（トヨタアルパルク東京（株））によるアリーナ運営であり、特徴のあるVIPルームやラウンジ等、多様なスポーツ観戦方法を提供 ・スポーツ以外の音楽ライブやMICEにも利用できる多目的アリーナ ・高品質な照明・映像・音響設備による顧客観戦価値向上
沖縄アリーナ	アリーナ	・プロスポーツやコンサート等を「観る」（観戦・鑑賞）ことに重点を置き、プロスポーツやコンサート・コンベンションなどの全国的なイベントを誘致するために整備された海外先進アリーナ水準の多目的アリーナ ・すり鉢状に配置された観客席やセンタービジョンがエンターテインメントの体感を高め、観客が熱気と喜びを共有できる空間を設計 ・イベントに応じた多様なレイアウトや、各種興行時の搬出入の容易さなど、多様な世代が集う交流拠点としてのアリーナに求められる利用の柔軟性やオペレーションの効率性等を具備